事務事業マネジメントシート（平成26年度実績と平成27年度計画）

平成28年　2月19日更新

| 事務事業名 | スポーツ体験教室開催事業 | | |

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課

2　評価の部（ＳＥＥ）

＊原則は26年度の事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	□達成した　☑達成しなかった　⇒【原因 目標値を高く設定し、予算の範囲内で目標値までの募集ができなかった。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☑目標達成見込みあり⇒【理由　□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 前年度から体育協会へも協力を要請し、教室数を増加させており、目標達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	☑向上余地がある　⇒【理由　□向上余地がない　⇒【理由 予算、場所、講師の問題がクリアされればさらに向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☑他に手段がある（具体的な手段、事務事業）　□他に手段がない　⇒【理由 ☑統廃合・連携ができる　⇒【理由 □統廃合・連携ができない ⇒【理由 総合型地域スポーツクラブや、各競技種目協会との連携の拡大により、成果の向上が期待できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	□削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由 現在も講師謝金は低額に抑えており、削減余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	□削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由 各種目協会との連携により効率的に行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	□見直し余地がある　⇒【理由　☑公平・公正である ⇒【理由 参加者に２千円の負担をお願いしている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	□見直し余地がある　⇒【理由　☑役割分担は適正である ⇒【理由 市民がスポーツに親しむためのきっかけづくりの事業であるため、行政・体育協会等のスポーツ団体が連携して行うべきである。

3　評価結果の総括（ＳＥＥ）　※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

教室開催には会場確保が必要であるが、定期的に空いている会場が少ない。
体験教室であるが、低料金で受講できるために同じ人が同じ教室に何度も参加するリピーターが増加している。

4　今後の方向性（事務事業担当課案）（ＰＬＡＮ）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

□廃止　□休止　□目的再設定　□事業統廃合・連携　□事業のやり方改善（有効性改善
□事業のやり方改善（効率性改善　□事業のやり方改善（公平性改善
□現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

(2) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策